

滋賀森林インストラクター 第1回研修会

日時：2015年5月3日 9:30 ～ 15:10

場所：余呉高時川上流

天候：晴れ

参加者：佐々木会長、梶谷、平田、高田、高橋、
小西、吉野、中野 8名

講師：小西

10:10～12:30 田戸と鷺見の間

13:30～14:15 鷺見の先

14:30 胡桃沢の名水

14:40～14:55 ウッディパル余呉



今年度第1回の研修会が余呉高時川上流の道路沿いで行われました。

参加者は、会員以外にやまの子地域サポーターの吉野さんを含めて全員で八名となり、こじんまりとした研修会でした。

四月末総会で再度の案内が有り、前日に参加を申し込んでしまい、担当された事務局には申し訳ありませんでした。案内の文章には、観察が期待できる植物名として今まで聞いたことがある名前が数多くあり、楽しみにしていました。

午前中は田戸の先の広場に車を止め、時間にして約2時間、距離にして1.2km。場所的に日本海側の要素の植物と混生している場所でもあり、中間種であるユキバツバキから研修会がスタートしました。ツタウルシに気をつけながら春のこの時期に花をつける植物を中心に解説を受けながら研修が進みました。主に道路の両側の岩肌や山の斜面に生育している植物が中心です。午前中は、開花していたり、蕾をつけている植物が39種、花がない種が29種の合計68種が観察できました。

午後は鷺見の先の行き止まりまで行き、沢沿いの河原と斜面での観察です。開花していたり、蕾をつけている植物が12種、花がない種が8種の合計20種が観察できました。

帰りには胡桃沢の名水をペットボトルに汲み、お土産まで調達できました。

大変有意義な一日を過ごすことができ、研修担当、小西さんにお礼を申し上げます。

<今回の研修のベスト3>

① ウ斯巴サイシンの群落



② フデリンドウの花



③ トチノキの実生 (ドングリ付き)



<レッドデータ>
アズマイチゲ



イワハタザオ



ハルユキノシタ



<日本海要素>
ハイイヌガヤ



ケナシヤブデマリ



ユキバタツバキ (?)



午前中: 田戸と鷺見の間

<開花していた、蕾をつけていた植物> 39 種

ユキバタツバキ、ミヤマキケマン、ヤマエンゴグサ、ササバエンゴグサ、マルバコンロンソウ、ニリンソウ、オオタチツボスミレ
アズマイチゲ、ミヤマガズミ、シャク、セントウソウ、ツボスミレ(ニョイスミレ)、ミヤマハコベ、コンロンソウ、ムラサキケマン
ホウチャクソウ、ツタウルシ、アケビ、イチリンソウ、ワサビ、オニクミ、ヒメウツギ、イワハタザオ、ユキグニミツバツジ
ハルユキノシタ、ヤマハリソウ、コクサギ、ヤマモミジ、ミツバウツギ、エンレイソウ、マムシグサ、ホウチャクソウ
キラソウ(ジゴクノカマノフタ)、ナルコスゲ、マルバアオダモ、キジムシロ、トキワイカリソウ、ニワトコ、ウスバサイシン

<花は無し> 29 種

チャボガヤ、コウモリカズラ、クサソテツ(コゴミ)、ヤブカンゾウ、アキカラマツ、トチノキ、シナノキ、イワタバコ、ソバナ
クジャクシダ、ジュウモンジシダ、シライトソウ、アキギリ、キクザキイチゲ、ナルコユリ、ミズキ、メグスリノキ、ミズナラ
ガズミ、ハイイヌガヤ、イワナシ、ブナ、ヤマボクチ、ツリバナ、チドリノキ、フタバハギ、ヤブレガサ、サワシバ
スミレサイシン

午後: 沢筋

<開花していた、蕾をつけていた植物> 12 種

オオバタネツケバナ、エンレイソウ、ハルトラノオ、オオハルトラノオ、ワサビ、ホクリクネコノメソウ、フデリンドウ、
イワハタザオ、ユキバタツバキ、ケナシヤブデマリ、ヤブニンジン、シャク

<花は無し> 8 種

ザゼンソウ、コチャルメルソウ、ヤマジノホトギス、コマユミ、アカメガシワ、ウワバミソウ、ナルコユリ、ヒメグルミ、アキギリ



イチリンソウ



ニリンソウ



ヒメウツギ



ミヤマカタバミ



ヤマルリソウ



ラショウモンカズラ



キランソウ



(報告中野)